



かえで通信

ご挨拶

皆さん、こんにちは！春の息吹を感じる今日この頃です。いかがお過ごしでしょうか。寒の戻りで、朝晩の空気もまだ冷たく感じますが、そのおかげで桜の開花が長く続きそうですね。入学式、進級式では、桜が満開になりそうです。桜まつりも、満開の桜で皆さまを歓迎できそうです。

さて、平成31年度がスタートしました！先月に開催された3月議会では、一般会計を含む全ての議案が可決、同意されました。3月のご挨拶でも述べさせていただきましたが、本年度の一般会計予算は、約488億円であり過去最大規模の予算案が上程されました。この予算を含め全ての案件が、市民の皆さまのニーズに沿ってのものであるかどうか、慎重に審査して私は賛成させて頂きました。市民皆さまのニーズや諸課題を調査し把握することは、議員の職務の1つです。また、それらに対し、どのように取り組んでいくか明確なビジョンを描くこともこれからの議員にとって重要な職務です。

平成も残すところ1か月ほどです。新たな元号がスタートする本年度は、前期総合計画から後期総合計画へ移行するなど何かと節目となる1年です。慣例にとらわれず、「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」に向け邁進して参ります。

今月も何卒宜しくお願い致します！

各務原市議会議員 大竹 大輔

市政を問う！平成31年3月議会では次の一般質問をしました！

緑の基本計画について ～街路樹の適正管理！～

緑の基本計画の方針は？

緑の基本計画では、「緑の保全」、「緑の整備」、「緑の管理・育成」の3つの計画を基本方針として定めており、「緑の保全」計画では、これまで創出してきた緑をより洗練された質の高い緑としていくことで、成熟したゆとりのある各務原市独自の「緑のライフスタイル」を確立し、更なるまちの魅力アップを図ることとしている。「緑の整備」計画では、人口集積が見られ、身近な公園が不足する地域において新設整備を検討していくことや、整備においては、地域のニーズを取り入れるとともに、バリアフリー化を図ることとしており、道路の緑化においては、周囲の土地利用に合わせた植栽を行い、適切な管理を行うこととしている。「緑の管理・育成」計画では、緑豊かなまちづくりを進める為に、景観計画の決定や地区計画制度の活用を推進していくことや、公共交通の利便性が高い公園等については、民間活用を導入した、新たな利活用を検討していくこととしている。

パークレンジャーの高齢化が進んでいるがその対策は？

高齢化の進展に伴う、パークレンジャーの高齢化や後継者の不足については、パークレンジャーだけでなく、あらゆるボランティア団体が抱える切実な問題であると認識している。市ではこれまでウェブサイトや広報誌において、会員の募集や一定期間以上継続して活動された団体に対して表彰させていただくなど啓発活動に努めている。また、大学や企業に対して直接的な働きかけを行い、若年層の方の参加をいただいているところだが、高齢化対策の根本的な解消には至っていないのが現状である。

一方では、活動後きれいになった公園で、参加者全員でティータイムや昼食をとることを楽しみや生きがいとし、その活動の輪を広げているという活動報告も受けている。パークレンジャー活動における高齢化対策として、行政が直接的に関われることには限界があるが、このような成功事例を参考に、今後もより効果的な啓発活動に努めていく。